

平成19年6月20日

JARIP会員各位

日本保険・年金リスク学会
研究会担当理事
栗山晃・福田敬・臼杵政治

JARIP 平成19年度第1回研究会のご案内

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

さて、日本保険・年金リスク学会（JARIP）では会員の研鑽のため、重要なテーマについてより深く研究討議を行う研究会を実施しております。平成19年度第1回の研究会を下記のとおり開催いたしますので、ご案内申し上げます。

今回は、北海道大学の井上先生らのグループが研究された効用等値価格の方法を保険型金融商品に応用して得られた最近の成果等を解説していただきます。効用等値価格による方法は、完備な場合の金融商品の価格付けから保険を含む非完備な金融商品の価格付けにまで適用できる有望な方法のひとつです。今後保険と金融の両方の性質を持つ商品の分析や会計上の評価の問題への展開が期待でき、実務家を含めた会員各位との質疑応答や意見交換を通じて理解を深めていきたいと考えています。

会員各位の積極的なご参加をお願い申し上げます。

敬具

記

1. 第1回研究会

日時：平成19年（2007年）7月17日（火）2時から5時

場所：朝日生命大手町オフィス1階会議室

（地下鉄大手町駅またはJR東京駅下車、徒歩5分）

（別紙 周辺地図をご参照下さい）

講師：井上 昭彦、中野 張、福田 敬

（略歴をご参照ください）

講演題目：効用等値価格による保険料計算 ～パレート効率的なリスク配分の観点からの新アプローチ～

要旨：

本講演では、保険型の金融商品の価格付けの問題に対して、ミクロ経済学的な視点にヒントを得た新しいアプローチを提示する。

第一に、保険型の金融商品の本質的特徴が、多数の契約者のリスクのプールであることに着目し、契約者の効用関数を用いて集団でリスクを分担する場合の合理的価格付けの方法を提示する。これは従来の大数の法則によるメカニズムの説明とは異なるアプローチである。

第二に、生命保険や銀行貸付は1年以上の多期間にわたることに着目し、多期間にわたる効用関数を用いた安全割り増しの最適な時間分散について報告する。これまで、多期間の保険型金融商品の安全割り増しの標準的方法論は存在しなかったもので、これは新たな方法論の提示となる。

2. 参加申込

参加希望者のお名前・所属組織名・Eメールアドレス・電話番号に加え、件名を「第1回研究会への参加申込」と明記の上、Eメールにて

To: office@jarip.org (日本保険・年金リスク学会事務局 担当: 中村祐子)

cc: kuriyama_akira@mail.asahi-life.co.jp (同研究会担当: 栗山晃)

迄お申込ください。参加申込は7月10日(火)迄とさせていただきます。

3. 参加費

研究会の参加費は無料ですが、資料代などの実費をカバーするため、会場にて1,000円程度のカンパをお願いしております。趣旨ご高配の上、ご協力いただきますよう宜しくお願い申し上げます。またカンパの趣旨から領収書の発行は行っておりません、ご了承ください。またカンパの趣旨から領収書の発行は行っておりません、ご了承ください。

以上

講師の略歴

井上 昭彦

1982年 東京大学理学部数学科卒業

1984年 東京大学理学系大学院修士課程数学専攻修了

現在 北海道大学理学研究科数学専攻准教授
理学博士

中野 張 (ゆみはる)

2000年 北海道大学理学部卒業

2005年 北海道大学大学院理学研究科博士課程数学専攻修了
博士(理学) (北海道大学) 取得

2006年~現在 大阪大学金融・保険教育研究センター・特任助教

福田 敬

1983年 東京大学理学部数学科卒業

1983年 第一生命入社

1999年 日本興業銀行入行（興銀（みずほ）第一フィナンシャルテクノロジー出向）

2006年 日本格付研究所入社

日本アクチュアリー会正会員、日本年金数理人会正会員